

学生と教員の見方



【プロフィール】
宅地建物取引士は取得したので、さらに司法書士を目指して勉強中です。将来は、独立開業を目指しています。

千葉県内で人口が増加してな低下により、アクアラインの地域は15市である。基本利用を伴う居住選択が本格的には、千葉市よりも西側、木更津市の人口増加に側面を向いていると考えられ加して、都市化の進展がその理由だと考えられる。こうした動向は経済理論

【学生の見方&考え方】
(4年 池部篤彦)

日本全体では人口が減少し、少子高齢化が進展しているが、千葉県木更津市は人口が増加しており都市規模も拡大している。この背景を人口動態に注目して検討する。

木更津市と他の地域の異なる点は、東京湾アクアラインである。東京湾アクアラインとは、神奈川県川崎市と千葉県木更津市を海底トンネルで結ぶ高速道路であり、1997年に開通した。当時は利用料金が4000円だったが、現在では8000円に低下している。木更津市におけるこの期間の

人口が増加する木更津市

人口総数の推移を確認すると、開通当初から人口増加が起きたわけでは無く、2000年代半ば頃から増加し始めたことが確認できる。さらに、木更津市における転出入者の人口移動の推移を確認すると、2006年以降に転出者数が減少していること、転入者数の増加は2010年を除き大きく変動していないことが確認できる。したがって、木更津市の人口増加は転出者数の減少による影響であると考えられる。

【プロフィール】
宅地建物取引士は取得したので、さらに司法書士を目指して勉強中です。将来は、独立開業を目指しています。

入者はアクアラインの利便性を重視していることを示唆しており、木更津市の街づくりはこの点を踏まえて実施することが重要であると考えられるものだった。

木更津市が、今後も成長無かった。この結果は、転

23年のデータによると、

が増大した。通行料の十分

アクアラインの利便性が 06年以降、転出数減少続く

【教員による展開】
(原野啓教授)

に改善している。ただし、開通当初は、通行料金が4000円と高額だったため、利用者数は低調だったが、2009年からETC利用の普通車は800円と大幅に低下したことで、利用者が増大した。通行料の十分

が低下している。次に、市外からの転入者の動向を調べると、金田ICから近い地域ほど転入率が高くなる

4年生を対象として「社会問題探求プログラム」において「木更津市の街づくり」をテーマに複数の調査

の課題は残されているもの